



特別
千12
3643
79(3)



小袖曾我



- 一 車面
- 一 着袴厚板
- 一 折烏帽子
- 一 神扇
- 一 大口
- 一 袋付腰帯
- 一 一ツサリ
- 一 一系祝田刀
- 一 一着折扇又扇斗目三ツキ
- 一 一上着又厚板
- 一 一カヅラ

連時宗は家東シテ同シ
團三郎 鬼王

- 母
- 一 一面母
 - 一 一着折扇又扇斗目三ツキ
 - 一 一上着又厚板
 - 一 一カヅラ
- 間女

母相子方地調並指ニリ上出ワキ座席也 間第ノ上ニ席

江中ニ阪少菅帯揚シテ時宗團三鬼王ト出ニ幕巻ノ内ニ 時 鬼
 立ありツレ向合也 右ノゴトク立並打初ニ向合

小袖曾我



地以テシテ
 正ニ並名也
 下ニ括立

命ミコトノ影カゲニ 富士フジノ山ヤマニ
 野ノノノカカノノ人ヒトノノ心ココロニ 六十六十年年
 祐タカヒトトノノ梅ウメノノ頼タカシ朝アサノノ將マサノノ
 我ガノノ心ココロニ 是コノ時トキノノ景ケイ

一 時宗ノ向

是母正一五スくく若れ劫為すく夜も中

あふふしつ将一統のふり

おの立并ニヨラフサシ時深チカラ向合ウレ三人立深一もひく建久四年ふり

ふふふのちのふりあふふり

きくくくくくくくくく

郡・麻の比月夜籙名殿の由将

あふふふふふ五ノ東五ノ

ハケ國の兵の皆に兵の下同

そとく敵の祐給ふ供中ふ事とし

だふふふふのふり復那、度ふ

大いなる母の愛のこころを
こころに受けとる

（あきらま上正）

親子の心をつなぐ

こころのこころ

あきらまのこころ

（あきらま上正）

あきらまのこころ

あきらまのこころ

（あきらま上正）

あきらまのこころ

（あきらま上正）

あきらまのこころ

（あきらま上正）

あきらまのこころ

あきらまのこころ

母の
結願を
正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一
正一
正一

正一

世尊の御うたぐや青くはるの御心

は腰もたのきるの御心 左にシテシテ御ニ手ヲトケ正ニ申ス

祐 上 母方へ向

た 一扇とラキ 一扇ニシテニツヨク

世尊の御心 トキ上ニテ御シタム 一吋空にシテへ向

あ ト ニテ吋空へ向飛

お 一吋空にシテシテへ向

あ 一吋空にシテシテへ向

あ トキ向

あ 一母狂者ニ付ル

あ 一母狂者ニ付ル

何事も法師の御書に
おぼしめされし事
は、
何事も法師の御書に
おぼしめされし事
は、
何事も法師の御書に
おぼしめされし事
は、

事成すは法師の御書に
おぼしめされし事
は、
事成すは法師の御書に
おぼしめされし事
は、
事成すは法師の御書に
おぼしめされし事
は、

三人共正
一也ス

人々を驚かす事ありては
三才ニヨソトケ母一

〜時宗とて位に
母左ニテシリナカラフニヨニセハ

トニ
兄を驚かす事ありては
三人共ニ足バヤニ驚カス入先着流不三テ左右ニテシリナカラフアニザスル

母左ニテシリナカラフニヨニセハ
母左ニテシリナカラフニヨニセハ
母左ニテシリナカラフニヨニセハ

母一
祐成中ニヨソトケ母一
二人共ニヨソトケ母一

まゝある事ありては
得場ありては

〜時
母一

〜時

〜時
正ニテトケ母一

〜時
正ニテトケ母一

正ニテトケ母一

ふさしり有難や 三ノ羽ヒラキ母ト付宗ニ研ソス 研ソス時母モ付宗ニ有

秋成清酌のまじり 三ノ上

祝言 上 三ノ上 高き志をく 三ノ上

ぬこあも 三ノ上 根の 三ノ上 折成 三ノ上

舞の 三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

又美の 三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

男 三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

場 三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

士 三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

草 三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上 三ノ上 三ノ上 三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上

三ノ上

三九ニ右シウケ 扇シウケ上ノ名ヲ口シナカウ正先ノ也

のちし祓のきりきりかきりかきり

ハラシテト右キリトヨリ正ノ雲ノ形ニ月ヲ見

三九ニサレテ時宗ニ格ヤリノ行シテハシテ柱ノソバニテ

く月成清見の関の終の其名成

右シウケノリ込ニ時宗モ右ノ也 柏子フミ右ノ也 正ノコノキツキ正ウケ左ノ袖返しニ右ニツク

あふんあふん兄弟木や若竹のそめ

トシノ柏子

右

柏子フミトノ左ノ袖ソモトシニスハニ 病タニミハル 國ニ鬼ヲシテニツキ 入母湯ノ心

あふんあふん終のりよ



